

米山セミナー

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

福家 宏



今年度米山記念奨学会への寄付金は、普通寄付5,000円、特別寄付25,000円をお願い致しました。昨年度より1万円のアップですから、地区米山奨学委員会の西谷委員長は2度にわたり皆様のクラブに説明文書をお届けし、ガバナー月信にも投稿されました。しかし私はそれでも皆様のご理解が十分とは言えないと感じておりました。そんな矢先、昨年10月5日に第2690地区の地区大会に参加の機会を得ました。この日私は感動的なプレゼンテーションを聞くことが出来たのです。

プレゼンテーションに立ったのは、プサコン・ホンヨックさん(女性)でタイ米山学友会メンバーです。現在タイ国のパナソニック株式会社、代表取締役社長秘書であり部長をお勤めです。

彼女は高校の交換留学生として1991年来日し、1年間を過ごしました。その時のホスト・ファミリーご夫妻はとても素晴らしい方で、彼女のコミュニケーション力向上のため厳しく日本語を指導されましたが、彼女が帰国後わざわざタイを訪れて彼女に会い、日本の大学への進学を勧められました。結果として彼女は島根大学に入学し、猛勉強の末4年生の時に米山記念奨学生に選ばれたのです。彼女は大学卒業後、鳥根県横田町の町役場に勤めますが、横田町がタイと「そろばん交流」を始め、彼女はタイの子供たちへのそろばん導入に貢献し「そろばん大使」の役割を果たしました。彼女は米山奨学生となったお蔭でロータリーの例会に出席し、ロータリアンと交流するようにもなりました。その結果

社会人となるための様々な心得を身につけることが出来ました。そして今は、タイのパナソニックで要職についており、タイ米山学友会メンバーとなっていますが、詳しくは「ロータリーの友」2014年1月号32-33頁をお読み下さい。

彼女は米山奨学生となったことで、お金では買えない素晴らしい人間関係を築くことになり、大きく成長しました。彼女はホスト・ファミリーへの思いを熱く語り、聴衆が涙を流すほどの感動を与えたのです。私は「はっ」と気付きました。米山セミナーだ!! 我が地区でも米山学友を招いて、彼(女)らの感動体験を語ってもらう機会を作るべきだと感じたのです。米山セミナーは米山月間の始まる前に各クラブから3名程度は参加して頂き、米山記念奨学制度の成り立ち、これまでの実績などを参加者に伝えます。その上で、米山学友のプレゼンテーションを実施することで、米山奨学事業への理解を一段と深めて頂けるに違いないと考えました。

私は10月のガバナー諮問委員会にこの件をお諮りし、ご賛同を頂いたので、早速地区米山奨学委員会に、この件を伝えました。次年度は当地区では「地区米山セミナー」が9月6日(土)14:00~ OMMビル会議室にて催されることになっております(出席義務対象はクラブ会長様・幹事様です。新年度に入りご案内致します)。その成功を私は願って止みません。皆様のご協力とご理解をお願い致します。